

# キリスト教社会福祉学研究

58号

Christian Social Welfare Science

2025

CSWWS

巻頭言	「コイノニア（交わり）から生起する福祉実践」に想う	岡本 宣雄
特集論文	当事者は誰なのか、どこにいるのか —当事者に学び、活かされるキリスト教社会福祉— 当事者とは誰か、どこにいるのかを考える べてるの家のソーシャルワーク実践における当事者の位置 —当事者研究を哲学的基礎として：当事者性の生成と支援編成の考察— イエス・キリストの仲介者性と当事者性 脆弱性の当事者として生きたイエスと、キリスト教社会福祉の原点 日本の知的障害者における当事者活動の現状と課題 —「自らを語り得る人生」の創造に向けて—	高山 直樹 池松 麻穂 佐々木 炎 望月 隆之
論文	キリスト教社会福祉学会における「地の塩」たらんとされた 岡山孝太郎先生の「変革の福祉論」 —遺稿集『バラバは、死なず！』を手掛かりとして—	細井 勇
研究ノート	トマス・チャーマーズの訪問活動の「宗教的動機」についての一考察 —説教で語られた言葉を中心に— 賀川豊彦のキリスト教社会主義思想の形成に関する一考察 —留学期間（1914-1917年）を通じて—	横山 望 李 善恵
実践報告	非キリスト教環境における地域福祉実践と信仰 —インクルーシブ教育環境の実現に向けて—	山崎 晃史
書評	増渕あさ子 著『軍事化される福祉 —米軍統治下沖縄をめぐる「救済」の系譜—	一色 哲 マーレー 寛子
大会報告	第65回大会報告	